



# 出合い・協働・学び合い

～つながる学び、そして成長し続けること～

## 11月12日 日 9:10 - 12:25

会場：瀬戸市文化センター 文化ホール **入場無料・事前申込み不要**

本市では、小中一貫教育の推進をはじめ、キャリア教育の更なる発展など、地域とともに成長し続ける教育の大改革を進めています。

ワークショップでは、昨年度から引き続いて、学習学の提唱者である本間正人氏をお迎えし、「新しい“学び合い”のかたち」について、会場のみなさんと語り合います。

“新しい小中一貫校の施設計画”や、“地域協働の先進事例”を映像などでご覧いただきながら、学校を核とした「出合い・協働・学び合い」をテーマにしたフォーラムにぜひご参加ください。  
(裏面もご覧ください。)

### 式典

9:10～9:25

#### 「感謝状贈呈式」

ボランティア活動をしていただいている個人や団体に感謝状を贈呈します。

総合司会：林ともみ

### 第一部

9:30～10:45

#### 「英語スピーチコンテスト」

市内中学校の代表生徒による英語スピーチコンテスト

### 第二部

10:55～12:25

#### 「キミチャレ2017ダイジェスト版映像上映」

#### 「市民対話型ワークショップ」 ～出合い・協働・学び合い～

《ゲストファシリテーター》

**本間 正人 氏**

(京都造形芸術大学 副学長)

《ゲスト》

片桐 常夫 氏 (豊田市立浄水中学校 校長)

鈴木 賢一 氏 (瀬戸市小中一貫校開校準備委員会副委員長)



会場の皆さんと  
対話型の  
ワークショップ

2020年に開校を予定している小中一貫校の施設を映像でご紹介します。



## ● 小中一貫校施設整備の基本コンセプト ●

地域の方々とともに社会全体で子どもたちを育て、見守ることを目指します。新しく小中一貫校ができることにより、自分が住んでいる地域の概念が広がり、これまでの学校では出会うことのなかった多くの友達と“出会い”、また、異なる年齢層や多様な価値観をもった人たちとの“出会い”が生まれます。そして、学校・家庭・地域において、教育の担い手となるすべての方々の意識改革のもと、固定概念にとらわれない様々な形の“協働”により、新たな“学び合い”が生まれ、子どもを中心とした学校・家庭・地域との関係は、“協働”を土台としながら常に進化し、やがて、まちや社会全体が成長していくことが期待できます。

9年間を見通した小中一貫教育では、“地域とともに歩む学校づくり”から、“地域とともに歩む未来の学び舎”へとステップアップすることを目指すとともに、“出会いと協働による新たな学び合いの創造”を基本コンセプトに、新しい学校づくりを推進していきます。



**本間 正人氏** (ほんま まさと)  
〈京都造形芸術大学教授・副学長〉

「教育学」を超える「学習学」の提唱者であり、参加型研修の講師としてアクティブ・ラーニングを25年以上実践し、「研修講師塾」を主宰する。京都造形芸術大学教授・副学長、NPO学習学協会代表理事、NPOハロートリム実行委員会理事。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書66冊。東京大学文学部社会学科卒業、ミネソタ大学大学院修士（成人教育学 Ph.D.）。ミネソタ州政府貿易局、松下政経塾研究主担当、NHK教育テレビ「実践ビジネス英会話」「三か月トピック英会話：SNSで磨く英語アウトプット表現術」の講師などを歴任。TVニュース番組のアンカーとしても定評がある。一般社団法人大学イノベーション研究所代表理事、アカデミックコーチング学会会長、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会理事、理事などを務める。

**片桐 常夫氏** (かたぎり つねお)  
〈豊田市立浄水中学校・校長〉

豊田市浄水地区（浄水小学校・浄水北小学校・浄水中学校）において、平成28年度より豊田市版コミュニティスクールの研究指定を受け、モデル実施を開始。その中心となって、「浄水中学校区コミュニティスクール」の設置運営に携わる。小小連携・小中連携をはじめ、各校に配置された地域学校協働本部や、地域の様々な団体との連携を実践している。また、赴任先の浄水北小学校と浄水中学校で、これまでのPTAに関する概念を取り除いた、PTAにC（Community：地域）を巻き込んだ任意加入の団体「PTCA」を立ち上げてきた。他にも、日本一「話の短い校長先生」として、テレビなどで紹介された。

**鈴木 賢一氏** (すずき けんいち)

〈瀬戸市小中一貫校開校準備委員会・副委員長〉  
〈名古屋市立大学大学院芸術工学研究科・教授〉

専門は建築計画学、一級建築士、博士（工学）。東海地区を中心に、各地で学校や病院など様々な公共建築の構想づくりや設計指導に携わり、子どもを取り巻く環境デザインの研究、実践に取り組んでいる。昨年度は「瀬戸市小中一貫校施設整備委員会」の副委員長として、施設整備の基本構想づくりに尽力。自治会・保護者・教員を一堂に集め、小中一貫校ワークショップを運営し、地域や学校関係者の新設校への思いを取りまとめた。これまで携わった事業では、日本建築学会教育賞や中部建築賞、キッズデザイン賞などを受賞するなど、利用者は勿論、専門家からも非常に高い評価を得ている。